



多文化共生のすゝめ 浜松研修

地域のグローバル化と 多文化共生

8/5 (火) - 8/6 (水)



少子高齢化が進む我が国において、オリンピックや復興などで人手が必要となる建設や土木、なおかつ慢性的な人手不足にある看護や介護といった分野での外国人労働者の受入れの議論が急速に高まっています。外国人労働者が高齢化社会にむけての担い手となることに対する期待と共に、日本人女性の社会進出を進める狙いもあると思われます。しかしながら、我が国の外国人労働者の受入れについて、どのような課題があるのでしょうか。

1990年の入管法改正以来、出稼ぎと呼ばれる南米系外国人労働者を多数受け入れてきた浜松市では、外国人と日本人との多文化共生における様々な施策を打ち出し、数多くの課題に取り組んできました。今、まさに自治体レベルでの多文化共生は喫緊の課題です。先進的に多文化共生施策を推し進めてきた浜松市が積み重ねた事例から、ノウハウを学んでみませんか。

対象 多文化共生・国際交流の行政担当者、
学校関係者、大学生、一般の方

定員 20人
(最少催行人員 10名)

申し込み方法

裏面の申し込み書を FAX 053-482-8452 または
Mail info@globaljinzai.or.jp にてお送りください

申し込み締め切り 7月30日(水)

参加費

20,000 円 (税込)

※会場までの交通費、宿泊費、情報交換会費を含む

主催 一般社団法人グローバル人財サポート浜松

後援(予定) 浜松市、一般社団法人自治体国際化協会、全国市町村国際文化研修所、公益財団法人浜松国際交流協会